

WEST LIFE

校長の目

令和7年4月21日(月)

50th
ANNIVERSARY



1年生の社会の授業では、毎回の授業の冒頭でその日のニュースを生徒が輪番で伝えるニュースキャスターの取り組みを行います。短い時間で分かりやすく伝えるために、ポイントを絞って話す必要があります。1年間で2回くらい回ってくるようなので、慌てないように準備をすることが大切です。どのようなニュースを取り上げるのか、生徒によって個性が出そうで、とても楽しみです。



こちらも1年生です。美術の授業のようすです。一人一人にスケッチブックが配付され、その特徴や使い方について説明がありました。このスケッチブックは、いわゆる画用紙だけのスケッチブックではなく、いろいろな紙が綴じられて



いる面白いスケッチブックです。画用紙、クロッキー用紙、半紙（奉書紙）、画仙紙、色画用紙、トレーシングペーパーが綴じられているのです。小学校の図工では、もっぱら画用紙か色画用紙で平面の作品を作っていましたが、中学校美術では様々な素材に触れることを大切にしている、自分が表現したいものに合わせて素材を選んだり、素材から発想を広げたりします。また、本時の最後に、水彩絵の具を使って少しだけ試し描きを行いました。短い時間だったので、もっと描きたそうにしている生徒もいました。

2年生の理科は、理科室で実験を行っていました。本時は、「炭酸水素ナトリウムを加熱したときに発生する物質を調べるのが目標です。試験管に入れた炭酸水素ナトリウムをガスバーナーで熱し、発生した期待を水上置換で採取します。水上置換は小学校理科でも学習済みですが、手際よくやるにはコツが要ります。期待が試験管に集まったら、水中でゴム栓をしますが、ここで失敗して空気が入ってしまったり、水が入ってしまったり、大騒ぎです。このあとは、気体の正体を調べるために、石灰水を入れて降ったり、マッチの火を近づけたり、試験管の中に線香を入れたりして、その反応から予想を立てていきます。



午前中にふじみ野市教育委員会教育長・教育委員の学校訪問がありました。これは、毎年4月に行われているもので、生徒の様子や施設の状況などを確認するためです。また、校長が学校経営方針等を説明する機会でもあります。委員の皆様からは、今後の学校経営について様々なご助言をいただきました。

